

(6) 平瀬ダム（山口県岩国市）

◆実施主体

山口県岩国市（旧錦町）

◆水源地域活性化調査時の活動内容

① 錦川スーパーフォーラムの開催

- ・水と水の文化の魅力を見つけ出し、さらに高めていくことによって、錦川固有の水文化を活かした地域活性化を目指す【アクション錦川】を発表。
- ・地元小学生との川の漂流物さがしや、講演、「アクション錦川に向けて」をテーマとしてパネルディスカッションを実施。

② アクション錦川の推進

- ・錦川リバーツーリズム推進組織の設立や、錦川クリーンアップ大作戦の実施、水と水の文化のアーカイブ製作、棚田オーナー制度の推進方策を検討。

◆地域の関わり

平瀬ダム水源地域において実施された水源地域活性化調査は、「行政」が中心となり、「活動団体」、「錦川流域ネット交流会」の3主体が連携して実施しました。その後、「やましろ体験交流協議会」も参加し、4主体によって実施されています。

各主体の役割分担

	指揮者・リーダー	起案者・発案者	専門家・助言者	宣伝者	事務者	支援者・後援者	同好の士・同調者
行政	●	●		●	●		
活動団体							●
錦川流域ネット交流会	○	○		○	○	●	
やましろ体験交流協議会	○	○		○	○		

●水源地域活性化調査以降も継続
△水源地域活性化調査以降は撤退
○水源地域活性化調査以降に参画

◆水源地域活性化調査以降の展開

水源地域活性化調査を期に設立された『錦川流域ネット交流会』が中心となり、河川の一斉清掃や錦川生き物フォーラムが開催されています。また、『やましろ体験交流協議会』が中心となり、ホームページ（錦川清流物語）の開設・運営や、修学旅行生を含む体験ツアーが実施されています。今後は、民泊体験を含めた修学旅行や、企業研究などの体験ツアーの受入などを目指しています。

◆課題

平成20年度から『やましろ体験交流協議会』を中心にホームページなどで情報発信していますが、知名度が低いため、地域に情報が浸透していません。錦川や宇佐川をフィールドとして、晴天時に実施する体験プログラムは充実してきましたが、今後は、荒天時の体験プログラムを充実させていく必要があります。

◆まとめ

平瀬ダム水源地域では、水源地域の現状を踏まえた「地域活性化策の検討」が発端となり、「地域住民の意識啓発」を行いながら「活動組織の立上げ」につながりました。活動組織が立ち上げられることにより、水源地域活性化の主体が明確となり、「特産品の開発」や「体験交流ツアーの試行」が実施しやすい環境が整備されました。

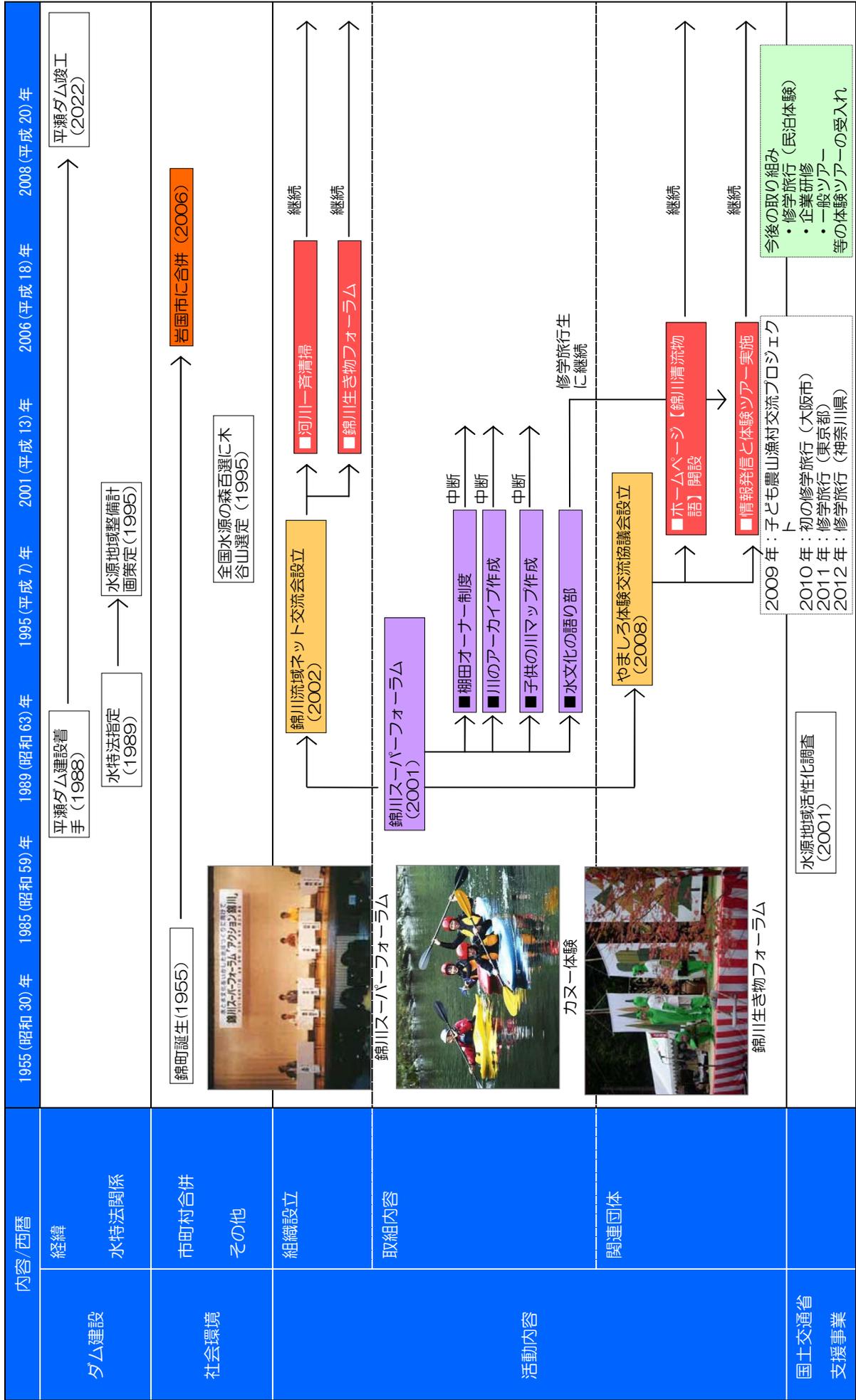


水生学習の場



民泊の受入施設

活動の流れ (平瀬ダム)



水源地域活性化調査での活動内容